

## 第9回淡路新地域ビジョン検討委員会 議事録

1 日 時 令和3年12月21日(火) 18:30~20:00

2 場 所 洲本総合庁舎3階会議室

3 出席者

委員：山本委員長、澤田副委員長、西原委員、栄井委員、木下委員、堤委員、森委員、横山委員、東田委員、原委員、安居委員、堀内委員

県：亀井県民局長、木南ビジョン課長、大橋班長、福栄

4 内 容

### (1) 県民局長挨拶

淡路島では10月14日以降、コロナの感染者が確認されていないが、オミクロン株が世界的に広がっており、引続き注意していきたい。

12月20日に国の補正予算で35.9兆円という予算が成立し、県においても723億円の大規模な補正予算が成立し、コロナ対策と経済対策の両立が進んでいる。

島内のニュースでは、12月1日に北淡路西海岸エリアに三ノ宮・舞子から1日11往復の定期バスが運行開始した。北淡路地域が賑わっていることによって民間のバス会社も積極的に動き始めており、いい傾向である。

12月24日からは、淡路島と徳島空港の直行バスの試験運行が開始するなど、北と南で公共交通機関の運行の取組が進んでいる。淡路の交通は非常に課題があると考えており、これからも取組を進めていきたい。

本日は、前回の意見を踏まえて修正した新地域ビジョン案について活発な議論をお願いしたい。

### (2) 新地域ビジョン(修正案)について

#### 【検討結果】

➤ サブタイトルを「はじまりの島」から「はじめらんか〜」に変更

(主な意見)

- ・最近淡路島に来る方を見ていると、何かをやりたいと思ったり、新しい生活を始めたいと思って移住してくる方が多いように思う。「はじまりの島」は改めていいフレーズだと思った。
- ・淡路島らしさを出すためには、はじまりの島や未来、環境という言葉を入れたい。
- ・「はじまりの島」には歴史的な意味の他に、これから新しいことを淡路島から発信していこうという意図が盛り込まれている。

- 第6章に記載の【取組の例】を【取組の指針】に変更
- 第7章に記載の【身近な取組の例】を【私たちにできること】に変更

(主な意見)

- ・第6章の目標ごとに「取組の例」が記載されているが、第7章にも「身近な取組の例」がでてくる。同じような内容になっているように見えるので、意図をはっきりした方がいい。
- ・第7章では、個人の日常生活でできることをイメージしており、第6章では行政や企業等も含めて取り組む内容をイメージして記載している。
- ・第7章では「私たちにできること」とした方がいいのでは。